

## 第3学年 学級活動 学習指導案

- 1 題材名 地震から身を守る  
(学級活動(2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成)

使用教材	避難行動カード
利用機器	Chromebook(学習用パソコン)、電子黒板 ※利用アプリ: Jamboard(電子ホワイトボード)

## 2 題材について

## (1) 題材の目標

地震が起きたとき、場所による危険性や避難行動に違いがあることに気付き、安全に避難するためのよりよい判断ができる。

## (2) 学習内容

本学級の児童(男子7名、女子6名)は、どの教科の学習に対しても前向きに取り組むことができる。グループで話し合う活動では、積極的に参加し、課題解決に向けて協力して取り組むことができる。しかし、根拠をもとに順序立てて自分の意見を述べることは苦手であり、聞き手に正しく伝わらないことがある。また、内容の聞き取りが苦手な児童もおり、授業の中で同じ意見だと気付かずに、数人の児童が発表する姿も見られる。

本題材は、地震が起きたとき、場所による危険性や避難行動に違いがあることに気付き、安全な場所まで避難するためのよりよい判断ができるようになることをねらいとしている。近年の大規模な震災の発生や、いつ起きてもおかしくないと言われている南海トラフ地震の影響により、防災教育の意識が高まっている中、様々な状況でどのように避難するのかを考える本題材は、地震から自分の命を守る力を育てるためのよい題材である。また、休み時間に地震が起きたことを想定して、安全な場所までの避難行動を考える活動は、必要感をもって自分事として取り組むことができるため、自分の考えの根拠をもとに順序立てて自分の意見を述べることにつながると考える。

そこで指導にあたっては、次のような支援を行う。

- ・事前アンケートの結果から児童の課題を把握し、本時のめあてを設定することで、児童一人ひとりが自分事として考えることができるようにする。
- ・安全に避難するための行動を、カードを使って考えることで、避難が終わるまでの行動の順序を具体的にイメージすることができるようにする。
- ・行動の順序について、個人思考、集団思考で深めていくことで自分が納得のいく避難行動を論理的に考えることができるようにする。
- ・カードの操作に Jamboard を活用することで、子どもの思考や対話的な学び合いの活性化を図る。
- ・発表の際に、教師が黒板にカードを並べることで、児童がイメージした場所の違いによって行動に違いが出ていることに気付くことができるようにする。
- ・振り返りに事前アンケートと同じ質問をすることで、地震が起きたときの避難行動に対する意識の変化を自分自身で認識できるようにする。

(3) プログラミング体験の関連

本学級の児童はこれまでに、朝の準備をすばやく行うための行動の順序についてカードを活用して考える活動を行っている。考えたことを実践することで、実際に朝の準備の時間が短くなっているため、行動の順序について論理的に考えることで、効率よく動くことができるようになるというプログラミングの良さを実感している。

本時では、避難行動カードを安全に避難できるように並び替える活動を通して、順序立てて考える力を身につけさせたい。また児童が発表した避難行動に、違いが出ているのはなぜなのかを考える活動を通して、場所などの条件によって行動が変わる分岐思考の力も身につけさせたい。

また、Jamboard を活用して避難行動カードを操作することで、お互いの意見を簡単に見たり、協同して操作したりすることができるという良さを生かして、話し合う活動の活性化を図り、プログラミング的思考を深めたい。

(4) 指導計画

時	主な学習活動・学習内容	評価
1 / 2 事前 指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震が起きたときの避難行動について確認する。</li> <li>・地震が起きたときの避難行動についてのアンケート記入</li> <li>・避難行動「お・は・し・も」の確認</li> <li>・教室で地震が起きたときの避難行動の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な行動ができるかどうか自分の現状を振り返っている。【思】(アンケート)</li> <li>・避難時に必要な知識や行動を思い出している。【知】(発言)</li> </ul>
本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全に避難するための行動について考える。</li> <li>・地震が起きたときの教室と教室以外の避難行動の違いの理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が起きたとき、場所による危険性や避難行動の違いがあることに気付き、安全に避難するためのよりよい判断をしようとしている。【思】(Jamboard、ワークシート、発言)</li> </ul>
1 / 2 事後 指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震想定での避難訓練を実施して、振り返りを行う。</li> <li>・避難訓練の振り返りと自分の行動の自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを生かして、状況に応じた避難行動をとろうとしている。【主】(行動)</li> <li>・安全に行動するためのよりよい判断ができたかどうか自己評価ができています。【思】(発言・アンケート)</li> </ul>

3 本時の指導（3年1組 10月22日 5校時実施）

(1) 本時の目標

地震が起きたとき、場所による危険性や避難行動に違いがあることに気付き、安全に避難するためのよりよい判断ができる。

(2) 準備物

Chromebook、電子黒板 ※利用アプリ：Jamboard（電子ホワイトボード）

避難行動カード、地震の映像、場所の写真、ワークシート

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震の映像を見ることで、安全に避難するための行動を考えようとする意欲を高める。</li> <li>アンケート結果から避難行動についての不安や心配を知ること、本時のめあてにつなげる。</li> </ul>
	いつも遊んでいる場所から、安全にひなんするための行動を考えよう。	
展開	2 地震が起きたときの危険な箇所や避難行動について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室からの避難について、全体で避難行動カードを並べることで、他の場所を考えたときの手がかりにする。</li> <li>教室以外の場所からの避難を想定して、Jamboard 内で、避難行動カードの並び替えを行うことで、安全に避難するための行動の順序を意識できるようにする。</li> <li>避難行動をうまく考えることができない児童には、具体的な場面の写真をヒントにすることで、危険なところやどのように身を守るかをイメージしやすくする。</li> <li>ペア学習をすることで、自分の意見を順序立てて説明したり、友達の意見を聞いて自分の意見を改善したりすることができるようにする。</li> <li>児童の意見を黒板に貼って、意見の違いを視覚的にわかるようにすることで、行動に違いがある理由を考えやすいようにする。</li> </ul>
終末	3 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前アンケートと同じ質問をすることで、安全に避難することに対する意識の変化を自分自身で認識できるようにする。</li> </ul>